

2026 年度 外部精度管理調査予定のご案内

2026 年度 食品衛生外部精度管理調査

1. 調査項目および日程等

別紙 1/2 参照

2. 検査方法

食品衛生法、「食品、添加物等の規格基準」（昭和 34 年厚生省告示第 370 号）または各参加検査機関の SOP 等

3. 評価方法

定量スキーム $\bar{X}-R$ 管理図^{*1}、 z -スコア

定性スキーム 報告の正誤

^{*1}: 黄色ブドウ球菌検査および麻痺性貝毒検査を除く

4. 参加費用^{*1}

理化学調査、微生物学調査 38,500 円（うち消費税等 3,500 円）/検査

動物を用いる調査 72,600 円（うち消費税等 6,600 円）/検査

調査結果報告書追加費^{*2} 4,400 円（うち消費税等 400 円）/冊

^{*1}: 調査試料発送後の参加中止につきましては参加費用が発生します

参加検査機関ごとに 1 冊の調査結果報告書が付属します

^{*2}: 参加検査機関ごとに付属する 1 冊とは別に追加で調査結果報告書を購入される場合の費用

5. 特記事項

重金属検査の調査試料作製および品質評価の一部工程については、当財団が評価・選定した機関に外部委託しています。

2026 年度 食品表示に関する外部精度管理調査

[特定原材料検査]

2026 年度は休止いたします。

2027 年度以降の再開は現時点では未定です。

[栄養成分検査]

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所との共催

1. 調査項目および日程等

別紙 2/2 参照

2. 検査方法

食品表示基準別表第 9 の第 3 欄、「食品表示基準について 別添 栄養成分等の分析方法等」（平成 27 年 3 月 30 日消食表第 139 号消費者庁次長通知）または各参加検査機関の SOP 等

3. 評価方法

表示値の許容差の範囲に基づく管理図、z-スコア

4. 参加費用^{*1}

基本項目 48,400 円（うち消費税等 4,400 円）/検査機関

基本項目+追加項目 60,500 円（うち消費税等 5,500 円）/検査機関

^{*1}：調査試料発送後の参加中止につきましては参加費用が発生します

主催者連絡先

一般財団法人食品薬品安全センター 秦野研究所
公益事業部 食品衛生外部精度管理調査室

〒257-8523 神奈川県秦野市落合 729 番地の 5

TEL/FAX 0 4 6 3 - 8 2 - 4 7 5 5（直通）

ホームページ <https://www.fdsc.or.jp>

お問い合わせはホームページの「お問い合わせ」よりご連絡ください。

2026 年度 食品衛生外部精度管理調査の予定

理化学調査

調査項目 調査対象物質	スキームの 種類	調査試料の形態*2	試料発送	報告書発送
重金属検査*1 カドミウム	定量	玄米粉	5 月下旬	3 月中旬*4
残留農薬検査 I 有機リン系農薬 2 種	定量	野菜ペースト	6 月中旬	
食品添加物検査 II 保存料	定量	シロップ (菓子コーティング用)	7 月上旬	
残留農薬検査 II *3 6 種農薬中の 3 種	定性・定量	野菜ペースト	9 月上旬	
残留動物用医薬品検査 サルファ剤	定量	肉ペースト	9 月下旬	
食品添加物検査 I 酸性タール色素中の許可色素	定性	シロップ (菓子コーティング用)	10 月下旬	

微生物学調査

調査項目 見立て食材*5	スキームの 種類	調査試料の形態*2	試料発送	報告書発送
サルモネラ属菌検査*1 食鳥卵（殺菌液卵）	定性	液卵	6 月上旬	3 月中旬*4
黄色ブドウ球菌検査*1 加熱食肉製品（加熱後包装）	定性・定量*6	マッシュポテト	6 月下旬	
一般細菌数測定検査*1 氷菓	定量	ゼラチン基材	7 月中旬	
腸内細菌科菌群検査*1 生食用食肉（内臓肉を除く牛肉）	定性	ハンバーグ	8 月下旬	
E.coli 検査*1 加熱食肉製品（加熱後包装）	定性	ハンバーグ	10 月上旬	
大腸菌群検査*1 加熱食肉製品（包装後加熱）	定性	ハンバーグ	10 月下旬	

動物を用いる調査

調査項目	スキームの 種類	調査試料の形態	試料発送	報告書発送
麻痺性貝毒検査*7	定量	ホタテガイペースト	10 月中旬	3 月中旬*4

*1：ISO/IEC 17043 認定項目

*2：一部変更となる場合がございます

*3：6 種農薬中 3 種が試料中に含まれるため、6 種農薬中 4 種以上の農薬が定性できる場合のみ参加可能

*4：報告期限日から 1～2 か月を目途に解析結果の速報を公表

*5：見立て食材による規格基準に従った検査方法で実施不可の場合には、通常実施している検査方法で参加可能

*6：定量スキームへの参加は任意

*7：デカルバモイルサキシトキシンを用いたマウスアッセイの標準化方法は当財団より指定

2026 年度 食品表示に関する外部精度管理調査の予定

特定原材料検査

調査項目

特定原材料検査

休止

栄養成分検査

調査項目

スキームの
種類

調査試料の形態

試料発送

報告書発送

栄養成分検査

<基本項目>

熱量、たんぱく質、脂質、炭水化物、
ナトリウム（食塩相当量）、水分、
灰分

定量

未定

8 月中旬

1 月下旬

<追加項目>

未定